

実習感想文

岡山大学医学部 5回生
Iさん

【期間】

2018-3-5～2018-3-9

【感想】

この度、1週間ももたろう往診クリニックで実習させていただきました。

貴院での実習が始まる前までは、3週間ほど大学病院での緩和支援医療科での実習でしたが、実習中に退院される患者さんたちと接する中で、患者さんの退院後の生活のことが気になっていました。具体的には、薬のコントロールや動くことが困難になった時の事や、家族の方々がどのように取り組まれるかについてです。これまでの実習では外来に来られたり、入院されている患者さんと接する機会しかなかったのですが、もたろう往診クリニックでの実習では、実際に患者さんのご自宅を訪問させていただくことで、病院から帰られた後の生活をみることができ、自分にとって毎日が新しい体験となりました。

朝夕の2回のカンファにおいてスタッフ間で多くの患者さんの診療情報共有を行い、電子カルテで患者さんの情報を詳細に把握し、また訪問先ではストーマの交換処置や腹水ドレナージ、ライン確保など多岐にわたるベッドサイドの処置など外科的処置を含め幅広い業務に臨機応変に対応される先生をはじめスタッフの方々の姿がとても印象的でした。

同行させていただいた先生方は忙しいスケジュールの中でも患者さんだけでなく、ご家族や施設であればスタッフの方々ともじっくり時間をとられて話をされていました。自分が今後医師になった時も、もたろう往診クリニックでの経験を生かして患者さんの退院した後の事も考えながら患者さんと接していきたいと思いました。短い期間ですが、1週間本当にありがとうございました。